

4区で系統雌牛アピール

3日目 種牛の部 岐阜「おやま系」登場



第10回 和牛全共 長崎県大会

長崎県で開催中の第10回全国和牛能力共進会(長崎全共)は3日目の

27日、種牛の部の第3区(若雌の2)、第4区(系統雌牛群)、第7区(総合評価群)の審査があり、岐阜県から9頭、愛知県から1頭出場した。岐阜県は第4区に飛騨市河合町を中心に受け継いできた系統「おやま系」で臨



第4区の審査に臨む森田さん(左)ら(27日、長崎県佐世保市で)

んだ。同区のリーダーの森田忍さん(46)は「系統の良さをアピールできた」と話した。第4区の審査では、満席となった2800人収容の場内で、岐阜県の全共出品対策室の山田英信室長が、「初産月齢が若いなど繁殖能力に優れ、脂肪交雑も極めて良好」と「おやま系」についてマイクで説明した。第3区は、高山市の門義仁さん(32)がハンドラー(引き手)として出場した。今年4月に就農したばかりだが、「牛が月齢の若い時から調教を始めたり、毎日牛のそばを離れないよう努めたりして牛と信頼関係を築いてきた」と綱を持つ手に

力を込め、審査に臨んだ。同区には愛知県新城市の垣内寿一さん(55)の牛「もんも」(父・茂勝米)も出場した。同会場では審査の他、女性や後継者、高校生が参加する和牛審査技術会も開かれた。東海からは、計7人が参加し、後継者の部で高山市の溝端真也さん(29)が優秀賞に輝いた。

同日は全国和牛能力共進会功労者表彰、繁殖農家特別表彰も行われた。表彰者は以下の通り。
◇功労者表彰▽岐阜県 熊崎陽輔、熊崎光夫、谷口正之、高橋利雄、青木清六、政井正則、志洞正美▽愛知▽白井あい子、垣内寿一◇和牛繁殖農家特別表彰▽三重 遠藤力(ヤマギシズム生活豊里実顕地農事組合法人代表)

